

# a whaling ship ほげいん船

基本理念  
まるさす。されこれる地域もつ達たは  
独立行政法人  
国立病院機構高知病院  
の医療心をの  
目に信頼をの  
指としな頼をの

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●大串文隆／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

## 災害に対する備えを



NHO高知病院 院長  
大串 文隆

4月14日21時26分熊本県熊本地方を震央とする地震（前震）が発生し益城町で震度7が観測され、28時間後の4月16日1時25分に、再び熊本地方を震源とする地震（本震）が発生し西原町と益城町で震度7が観測されました。この地震で多くの方が犠牲となり、今なお避難所生活をされている方もたくさんおられます。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、負傷された方々を始め被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

熊本地震は1995年に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）と同規模の大地震だったそうです。私も当時淡路島に医療支援に行きましたが、想像を絶する景色であったことを思い出します。震災発生後は国立病院機構はじめ全国から災害医療チームが派遣され、高知病院からもDMATチームを熊本に派遣しました。熊本は比較的地震が起る可能性が低いと言われていた地域のようですが、突然このような大きな地震が発生しました。最近、本当に大きな地震が多いような気がします。高知病院は2011年に初めて呼吸器外科の日野先生を中心にDMATチームが誕生し、同時に災害拠点病院となりました。現在、複数のDMATチームができており、災害に対する体制が少しづつ整えられつつあります。今年の4月日本医療マネジメント学会総会で会長施設の麻生飯塚病院のDMATチームから熊本地震の緊急報告がありましたが、震災発生後のチームの対応が非常に早く平常時から準備ができていることが伺えました。また、現場で参加した際、熊本赤十字病院の職員の対応が非常に優れており、日頃から災害

に備えた訓練を熱心に行っている印象を受けたとの発表もありました。国立病院機構の会議では熊本医療センターの院長から震災後の病院の現状についての話がありましたが、400床以上の病床を持つ市民病院が大きな被害を受けたため非常に多くの患者さんが熊本医療センターへ受診してきたことや、被災を受けた職員が車の中で寝泊まりし患者対応にあたっていた等の話を伺いました。地震学者によると地震が「いつ」という予想は難しいが地震国である我が国ではいつでも、どこにでも発生する可能性があるとのことです。高知では南海地震を想定していますが、これ以外にも内陸型（活断層型）地震が発生する可能性もあり、災害に対する備えを行っていかねばなりません。高知病院も毎年災害訓練を行っておりますが、本当に災害が発生した場合に対応できるのかという疑問を持ちます。その意味から有意義な災害訓練を企画し実践することが必要ですし、職員の全てが真摯に取り組むことが重要です。当院にも救急を含む災害医療に熱心に取り組む医師も増えてきており、10月には大規模な災害訓練を行う準備も進んでいます。立地条件から高知病院は災害時には数少ない重要な病院になると予想されています。いつ、災害が起こっても病院として適切な対応ができるように意識を持って訓練にも取り組んでいただきたいと思いますし、充実した訓練を繰り返し行っていくことが重要と考えています。災害拠点病院の名に恥じないように準備していくたいと思いますので職員の皆さんには協力の程宜しくお願ひします。



# 新医師紹介



消化器内科医師

岡田 泰行



小児科医師

寺内 芳彦

5月1日より当院消化器内科に赴任して参りました岡田 泰行（おかだ やすゆき）と申します。

出身は徳島県で平成22年に徳島大学を卒業しました。研修はKKR札幌医療センター斗南病院と徳島大学病院で行い、その後徳島大学病院消化器内科に入局し、消化管の内視鏡治療および化学療法を行っておりました。苦しまない内視鏡を常に心がけております。また化学療法におきましても患者さん一人一人に最適な治療ができるよう日々精進しております。

大学時代に部活の遠征で高知に来ることがたびたびありましたが、この度、初めて高知県で生活することになり、非常に楽しみにしております。休日にはドライブでいろいろ高知県を散策したいと考えております。

まだまだ高知弁に慣れずに理解できていないときもありますが、1日も早く生活に慣れますよう、また医療に従事した時の初心の気持ちを忘れず地域住民の皆様に貢献できればと思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

7月1日から小児科に赴任いたしました、寺内芳彦（てらうち よしひこ）と申します。高知県出身、高知医科大学卒業で、平成23年から24年にかけても当科で勤務しており、初期研修の頃から数えると当院に勤務するのは今回で3度目となります。いまだに色々な領域に携わりたいという気持ちが残っていますが、専門としては小児領域の感染症で、直近の約2年間は東京の国立感染症研究所で研修しておりました。東京では主に基礎研究に従事しており、特に身体の免疫の仕組みや予防接種（ワクチン）、微生物としてはインフルエンザウイルスや百日咳菌等に興味を持ちました。臨床的な側面からの考え方には、2年の間に学んだ基礎医学的な側面からの考え方を融合させ、より良い診療につなげていければと考えています。

卒後12年目になりますがまだまだ学ばなければならぬ点は多く、皆様にご迷惑をおかけする事も多々あるかと存じますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

# 平成28年(2016年)熊本地震のDMAT活動に参加して



呼吸器副センター長 日野 弘之

「平成28年(2016年)熊本地震」は本年4月14日以降、熊本県と大分県で相次いで発生している地震災害で、現在多くの方が苦しんでおられます。死者49人、行方不明者1人、推計被害額は最大4.6兆円と大きな被害を出しました。

今回、私たちは医師2名、看護師2名、ロジスティクス2名の計6名で、第4次DMAT活動に参加させていただきました。期間は4月20日から4月23日まで、参考場所は熊本県阿蘇市の阿蘇医療センターがありました。阿蘇医療センターは医師8名、病床数120の地域の医療機関でしたが、そこに発災直後には、約30チーム、150名程度のDMAT隊員が集結し、支援活動を行っていました。私たちのチームは、4月21日は避難所の状況把握を行い、4月22日は阿蘇医療センターでの外来業務・夜間救急の手伝いを行いました。

4月21日は、5か所の避難所を訪れ、避難状況をDMAT本部に詳細に報告いたしました。この日は豪雨

であり、新たに避難してくる方もいらっしゃるほどでした。避難所での慣れない生活で体調をくずしているご高齢の患者さんを数名、診察させていただきました。

4月22日は、日中に約30名程度の外来診察を行った後、17時～24時まで救急外来のお手伝いをさせていただきました。病院のスタッフの方々はご自身も被災者であり、看護師の方には、自宅が倒壊し車中泊から出勤されている方もいらっしゃいました。放射線技師、検査技師、薬剤師、医師の方々もほとんど御自宅に帰れてない状況がありました。苦しい中でも地域医療を支えるべく業務されているスタッフの皆様に頭が下がる想いであります。私たちの活動が少しでも支援になっておれば幸いに思います。

今回のDMAT活動は私にとって貴重な経験になりました。今後は高知県での防災活動にも、この経験を生かしていきたいと思っております。



# 健康フェスタ2016 を開催して



職員係長 三河 俊介

5月14日(土)に今年も健康フェスタを開催しました。

今年は雨の心配も無く、朝から天気に恵まれ、約500名の方にご参加いただきました。

今回のテーマは「来て」「見て」「知ろう」地域の病院です。是非、地域の皆様に国立病院機構高知病院に足を運んでいただきて、実際に見て、どんな病院なのかを知っていただこうと思いを強く反映させたテーマでした。

オープニングではよさこいチーム「華男」によるよさこい踊りでした。来場された子供も大人も見入ってしまうほどかなり迫力のある踊りで朝一から派手なスタートを切ることができました。踊っていただいた後には、華男の方々による踊りのレッスンが始まりました。子供達が参加し、とても楽しそうに踊っていました。

その後、各ブースによる体験コーナー等の催し物が

始まりました。

アロママッサージ、手洗い体験、救急処置法・AED体験・お菓子で調剤体験などの定番コーナーや手術室見学ツアー、妊婦・高齢者体験といった昨年にはなかったコーナーを設けました。その他にも様々な検査ができるコーナーや気になるところを相談できる健康相談・栄養相談があり、参加者がたくさん押し寄せて、賑わいを見せました。

これらの各コーナーを回ると、アイスクリンやフルーツがもらえるスタンプラリーがありこちらも評判でした。

市民公開講座では「意外と身近にあるがんのお話」をテーマに2人の先生が、肺がん、子宮体がんについてとても分かりやすく解説を行い、来場された皆様も真剣に聞いていました。とても評判の良い講演となりま



した。

今年も警察関係者や消防関係者など外部からもご協力を頂き、パトカー・白バイ・救急車の展示をしてフェスタを盛り上げて頂きました。

また、他にも自転車シミュレーターや防犯特捜マモルマンによる寸劇などで、交通安全や防犯啓蒙に関する活動を行っていただき地域の皆様に少しでもお役に立てたのではないかと思います。

その他に今年は、高知県のゆるキャラ「くろしおくん」が来てくれました。くろしおくんが出てきた瞬間からくろしおくんの周りに人が集まり大好評でした。目的の病棟までなかなかたどり着けずにいましたが、それだけ皆さんに喜んでいただけたので来て貰ったかいがありました。

エンディングは恒例の朝倉中学校吹奏楽部に加えて、高知学芸中学・高等学校吹奏楽部にも生演奏して頂きました。両校ともすばらしい演奏でした。内容も最新の曲や定番の曲まで幅広いジャンルを演奏していただき、今年のフェスもいよいよ終了するなと思いながら、最後まで楽しむことができました。

来場者より頂きましたアンケートでは、とても楽しかったという意見が多かったです。また、「将来、高知病院で働けるよう努力したい」「職員、学生の感じが良かった」「このフェスタを知らない人を来年連れて来たい」など、うれしく思うご意見をたくさんいただきました。

今後も地域の皆様のために「心のこもった医療」「地域に信頼される病院」となるようこれからも取り組んでいきたいと思います。

最後になりましたが、フェスタ開催にあたってご協力頂いた多くの皆様、また、ご来場して頂いた多くの方々に対して改めて厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。



## 新採用職員研修に参加して

薬剤師 津郷 佑規



4月21～23日の3日間にわたる新採用職員研修では自分と同じ職種の人達だけでなく、病院で働くさまざまな職種の人達とも交流を深めることができました。

1日、2日目は各職種の職務内容の説明と多職種とのグループワーク、接遇講習をおこないました。職務内容の説明は短い時間で、解りやすいものだったので他の職種に興味を持ち、理解を深めることができました。

グループワークでは他の職種ならではの観点・視点を討論の中で感じることができ、新鮮な体験をさせていただきました。討論であがった意見は今後、病院で働く上で大きく役立っていくと思いました。

接遇・マナー講習では相手が患者ということで一般的な接遇とは違った対応が必要なため、習得することが難しかったです。

3日目の各職種同士のグループワークではお互いの施設の違いや同じ職種間の意見の交換など普段できないことができ、貴重な体験をしました。

他の職種の人達と話し意見を交換する場は数える程もないのに、この貴重な経験を忘れずに今後の業務に活かせるよう粉骨碎身していきたいです。

## 平成28年度中国四国グループ内副看護師長新任研修会を受講して

副看護師長 山口 茜理



6月15日～17日に中国四国グループで開催された、副看護師長新任研修会を受講させていただきました。この研修は中国四国グループ内の副看護師長を対象に開催され、国立病院機構の運営にあたり副看護師長の業務遂行能力上必要な諸事項を学ぶとともに、中間管理者としての能力開発をする目的に行われました。

研修には私を含め50名の副看護師長が参加し、講義やグループワークを行いながら「労務管理」「経営」「人材育成」の視点で自施設の現状や自己の課題を改めて見つめる事ができました。また、研修の中で、これら3つの視点は常に隣り合いながら存在しており、一側面だけに取り組むことでは管理できないということが理解でき、その為に私自身ができるは何なのか?について考えました。

研修を通し、他施設の副看護師長と交流する中で、様々な意見交換を行い大変刺激を受けた3日間でした。副看護師長としても看護師としても、まだまだ未熟な私ですが、与えられた職務を一生懸命頑張りながらこれからも精進していきたいと思います。

## NST研修会に参加して

管理栄養士 吉田 沙織



6月20日から6月24日の5日間、岡山医療センターで開催されたNST研修を受講させていただきました。この研修は、NST専門療法士の資格取得に必要な40時間の実地修練であり、臨床栄養学に関する知識と技能の取得を目的としています。中四国グループ内外より看護師、薬剤師、栄養士が計28名参加しました。

研修では、多職種の先生方のご講義より栄養に関する様々な分野の基礎知識を学び、それを応用しながらグループで症例検討をしました。看護師、薬剤師、栄養士で討議する中で、各部門ならではの視点の違いや専門的知識の強みにとても刺激を受け、多職種が連携してチームで活動することの重要性を実感しました。それと共に、専門性を發揮するためには、私自身、管理栄養士としてのスキルをもっと向上していく必要性を感じました。

この5日間の研修で、NSTに関する知識だけでなく、チーム医療への意識や自己の専門性へのモチベーションがとても高まりました。研修で学んだ多くの事を活かせるよう日々邁進していきたいと思います。

# 平成28年度 「つくしまつり」



療育指導室 保育士 川上 洋美

6月18日(土)重心障害児者病棟恒例の「つくし祭り」を開催いたしました。毎年、利用者さんがテーマや出店の商品など意見を出し合って作る手作り行事の一つで、今年度は「みんなで元気にお祭りワッショイ！」をテーマに準備を進めていきました。

晴天に恵まれたお祭り当日は、院長はじめ事務部長・看護部長の挨拶から華々しくスタート。利用者さん・ご家族・職員など300名以上参加があり、アイスクリームや食堂、カフェ、雑貨、焼き物、バザー、そして養護学校の展示・販売を楽しみました。どのブースも賑わっており、それぞれに飲食や買い物を楽しんでいました。アトラクションでは「ルアナと楽しい仲間たち 高新マカマカ」の皆様をお招きしてのフラダンスショーも開催。華やかなハワイアンの衣装に身を包んだ皆さんがフラダンスを披露すると訓練室が一気に南国の雰囲気になります。会場全体で振りを教えてもらい一緒に踊るコーナーで

は利用者さんも家族も職員も一体となり、とても大盛り上がりでした。

利用者さんからは「家族と参加できて楽しかった」「買すぎた！」「フラダンスまた見たいな」などの感想があり、思い出に残る一日となったようです。また、今回のつくし祭りのために利用者さんが共同で制作したペナントを一階放射線科待合に展示しています。壁側を覆う大きな作品で「賑やかで元気がわいてくるような作品だ」と好評です。お時間のある方は是非ご覧ください。

開催にあたりボランティアに高知病院附属看護学校や龍馬看護ふくし専門学校から多くの学生の参加をいただきました。また、OB・OGの皆様にも参加していただき花を添えていただきました。今回のつくし祭りにご参加・ご協力いただきましたみなさま本当にありがとうございました。



## 診療科紹介

## 肝臓・胆道・脾臓外来について

外科医師 花岡 潤

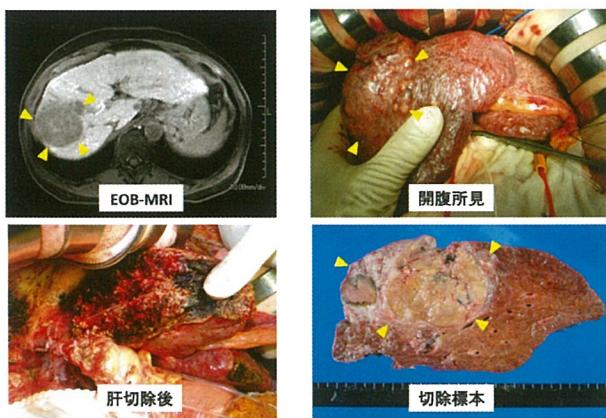


本年度より毎週金曜日に肝臓・胆道・脾臓外来を開設いたしました。現在、日本肝胆脾外科学会では、肝胆脾領域における専門的知識、及び熟練された技能を備える外科医に対し、日本肝胆脾外科学会高度技能専門医として認定しています。2016年時点では、高度技能専門医は142名で全消化器外科医の0.7%となり、当院は日本での最高レベルの手術が提供できる施設ということになります。

下記に当科での対象臓器、疾患、術式について解説します。

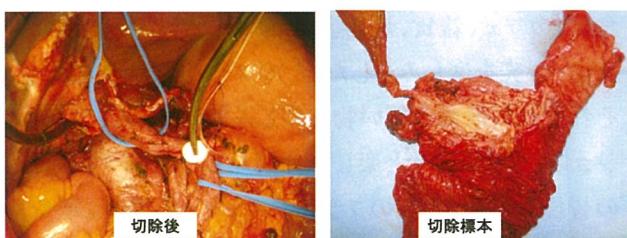
①**肝臓疾患**…原発性肝癌、続発性(転移性)肝癌などの悪性疾患に対し、全術式の肝切除、術中ラジオ波焼灼術などを行います。最近では腹腔鏡手術も保険収載され、専門医のもとで適切に施行されています。また、肝囊胞、巨大血管腫などの良性疾患に対しても、肝切除、開窓術をはじめとして(单孔式)腹腔鏡下手術も行っており、低侵襲手術の割合が増加しています。

## 肝右葉切除術(肝細胞癌)



②**胆道疾患**…胆道癌(肝門部胆管癌、胆囊癌、肝外胆管癌)に対する根治手術(肝切除、脾頭十二指腸切除術、場合によりその両方)が適応となります。胆道癌においては完全なリンパ節郭清が必要となるため、基本的にはすべて開腹手術の適応となります。また、先天性胆道拡張症などの良性疾患に対しての分流手術、胆道再建術も行っています。

## 脾頭十二指腸切除術(脾癌)



③**脾臓疾患**…通常型脾管癌に対しては、脾頭十二指腸切除術、脾体尾部切除術が施行されます。当院では特に亜全胃温存脾頭十二指腸切除術を採用しており、術翌日から水分開始、3日目から流動食が開始され、順調であれば術後約2週間で退院が可能となります。また、近年増加傾向にある脾管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)などの脾囊胞性疾患、脾神経内分泌腫瘍などは積極的に腹腔鏡手術を行っています。

上記に加え、最新の化学療法、姑息的手術なども幅広く行っております。手術症例に限らず、お困りになるような症例がありましたら気軽に受診していただければ幸いです。

## 認定看護師 合格について



左から 河村ひとみ、竹長 幸子、西澤 千晶

### 感染管理室 河村ひとみ

昨年、神奈川県立保健福祉大学実践教育センターの感染管理認定看護師教育課程を修了し、今年5月に認定審査を受審し、無事合格できました。高知病院の職員の皆様の助力、応援のおかげだと深く感謝しています。今後は、認定看護師としての活動と自己研鑽を積み役割を果たしていくことができるよう努力していきたいと思います。

4月から感染管理室で勤務となり、病院全体の感染管理を総括するための活動を行っています。各部署の感染対策の確認・改善点の提案や、手指衛生遵守に向けて院内感染対策チーム、各部署のリンクナースと共に取り組んでいます。実際の現場での実践や継続ができる感染対策を現場の皆さんと共に検討し、改善していきたいと思っています。よろしくお願いします。

### 感染管理室だより

## 全職員対象の感染対策研修の実施について



感染管理室 河村ひとみ

当院は診療報酬で感染防止対策加算1（入院初日に入院基本料に400点加算）を算定しています。算定にあたっての施設基準の一つに「全職員を対象に年2回、院内感染対策に関する研修を行う」と定められており、出席率が監査の対象になります。今年度は1回目の全職員対象感染研修を「標準予防策と経路別予防策について」というテーマで7月20日に実施しました。また、翌週DVD視聴研修を行い、7月20日研修もしくはDVD研修のいずれかに全職員が参加できるよう計画をしました。

2回目の全職員対象研修は11月頃開催予定です。同様に複数回の開催とすることで、多くの職員が参加しやすいように計画したいと考えています。職員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

### 5階北病棟 竹長 幸子

この度、皮膚・排泄ケア認定看護師となりました竹長幸子です。

去年、福岡県看護協会の「皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程」において5月から12月までの8か月間、創傷ケア・ストーマケア・失禁ケアについて専門的な講義や演習、実習を受講しました。研修では、これまでの人生の中で一番勉強し課題に取り組んできました。研修中は高知病院の職員の方々の多くの支えにより無事に課程を修了でき、感謝しております。そして認定審査に合格したことを御報告でき嬉しく思います。

これから、皮膚・排泄ケアの必要な患者さんやそのご家族の方、ケアに携わるスタッフの方への看護を一つずつ丁寧に行っていきたいと考えています。頑張って活動していきたいと思っていますのでよろしくお願ひします。

### 6階南病棟 西澤 千晶

私は、昨年8月から8ヵ月間、静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程緩和ケア分野において研修を受講してきました。緩和ケアは専門的な知識や技術も必要ですが決して特別なことではなく、患者さん・ご家族に“寄り添うこと”が基本であることを痛感しました。緩和ケアはかつてのギアチェンジと違い、現在では、がんや命を脅かす恐れのある疾患と診断された時からの介入が必要とされています。また、緩和ケアの介入による生存期間の延長も報告されています。一般病棟における緩和ケアの提供には制限もありますが、患者さん・ご家族が苦痛から解放され、最後まで望む人生を全うできるよう他職種と連携し、個別性のある緩和ケアの提供に努めたいと思います。よろしくお願ひします。



# 栄養管理室だより

栄養管理室長  
大年 典子



毎年、夏バテしていませんか？

夏は暑さのため、体力を消耗します。消耗した体力は、きちんとした食事や十分な睡眠で回復します。暑いと食欲が低下する、くどいものは食べられないといって、そうめん等のあっさり料理ばかり食べていてはたんぱく質や脂質不足になり、その結果、元気が出ない、疲れやすくなるなどますます夏バテ症状がひどくなります。夏バテの予防・解消には、水分補給に注意するだけでなく、食生活全般に気をつけることがとても大切です。今年は食生活を見直して、夏場の疲れを吹き飛ばしましょう。

## 【夏バテを防ぐ食生活のポイント】

### ・朝食を食べる。

朝食は、1日の活動を開始する大切な食事です。朝食をしっかり食べて、炭水化物やビタミン、ミネラルを補給しましょう。

### ・ビタミンB1をとる。

ビタミンB1が不足すると、炭水化物を効率よくエネルギーに変えられず、筋肉に乳酸がたまり、疲れやすくなります。

また、ビタミンB1は、にんにく、にら、葱、玉葱などを一緒に食べると吸収が良くなります。

〈ビタミンB1の多く含む食品…豚肉、レバー、うなぎ、かつお、鯛、枝豆、豆腐、ごま等〉

### ・ビタミンCをとる。

ビタミンCには、暑さやストレスに対する抵抗力を高める働きがあります。

〈ビタミンCの多く含む食品…オレンジ、グレープフルーツ、キウイフルーツ、苺、ブロッコリー、トマト、法蓮草、じゃがいも等〉

### ・鉄分をとる。

汗を多くかいて鉄分が失われると、貧血を起こしやすくなります。鉄分はビタミンCと一緒に摂ると吸収が良くなります。

〈鉄分の多く含む食品…牛肉、レバー、鮪、あさり、納豆、法蓮草、ひじき、ごま、アーモンド〉

### ・酸味・薬味・香辛料を活用。

上手に取り入れ、食欲がわく工夫をしましょう。特に、酸味は、胃液の分泌を活発にして消化吸収を促したり、乳酸を除去する効果が期待できます。

〈食欲UP…酢、梅干し、レモン、生姜、にんにく、しそ、みょうが、ごま、唐がらし、カレー粉等〉

### ・消化を促す食材を活用。

食べると胃がもたれる場合は、消化を促す食品を活用するとよいでしょう。

〈消化力UP…山芋、オクラ、モロヘイヤ、大根、キウイフルーツ、パインアップル等〉

### 手早く作れ夏バテ予防にもぴったりの味噌汁

### オクラ納豆汁



**材 料** (2人分) オクラ…50g、納豆…1パック、だし…カップ2、味噌…大さじ2、すりごま(白)…適宜

- 作り方**
- ①オクラは薄い小口切りにする。納豆は粗くたたく。
  - ②鍋にだしを煮立て、味噌を溶き入れる。
  - ③納豆を加え、一煮立ちしたらオクラを加えて火を止める。
  - ④器に盛り、すりごまをふる。



## 医療安全管理室だより

# 医療安全定期ラウンドの取り組み



医療安全管理係長 山本 三恵

医療事故を起さないための安全対策には、未然に防ぐ（事故が起こらないための予防策を実践）、同じ事故の発生を予防する（発生してしまった事故の原因を分析し、改善策を立て、実践することで予防を図る）の2通りがあります。今までの医療安全活動報告では、事故が発生した後に予防策を講じた結果、事故発生の減少または、事故発生がなくなったという報告を重点的に行ってきました。今回は、未然に防ぐための活動に焦点を当て、活動報告をさせていただきます。

医療安全管理係長として病棟ラウンドを概ね毎日行っています。今までのラウンドスタイルは、気付いた点を指導したり、改善を求めたりしていましたが、内容に一貫性がありませんでした。そこで、ラウンドに効果を持たせるために、ラウンドチェック表を作成し、安全な環境作り、システム作りができるか、また以前に発生した事故に対する予防策が継続して行えているかを確認することに変更しました。このチェック表に沿って確認し、実践できていないところを指摘、改善を求め、次回のラウンドで改善できて

いるか確認するといった活動を4月から開始しています。

さらに、今までではラウンドは病棟がほとんどでしたが、コメディカルの現場でも医療事故は発生しているため、月に1度はコメディカルの現場をラウンドすることにしました。

ラウンドの視点については、病棟ラウンドでは、転倒・転落防止、患者誤認予防、認知症患者への対応、災害発生、作業環境等です。コメディカルでは、転倒予防、災害発生時、患者誤認予防を中心にそれぞれの業務にあわせています。

現時点では病棟は6カ所、コメディカルは3回ラウンドを実施しました。これらの結果は、またの機会にご報告させていただきます。

安全な医療活動は医療法で定められておりますので、それに従い、安全な環境、人間作りが重要です。その一環として、ラウンドを開始しました。決してあら探しではありません。安全な医療活動を推進するためですので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

医療安全管理に関する定期ラウンドチェックリスト		ラウンド月日
	検査箇所	〇X 番号
①	施設・設備の状況	〇X 番号
②	医療行為の状況	〇X 番号
③	医療従事者への対応	〇X 番号
④	作業環境	〇X 番号

コメディカル用 医療安全管理に関する定期ラウンドチェックリスト		ラウンド月日
	検査箇所	〇X 番号
①	施設・設備の状況	〇X 番号
②	医療行為の状況	〇X 番号
③	医療従事者への対応	〇X 番号
④	作業環境	〇X 番号

要確認!



# 看護学校だより



## ～七夕まつり～



教員 飛田 沙知

7月5日～7月8日に学生自治会が主体となり七夕まつりを開催しました。七夕まつりは、病院内の限られた空間の中で療養されている患者さんに、学生が書いた短冊を飾った笹を病棟に飾り、季節感を味わっていただきたいという学生たちの思いで行っています。開催にむけて5月下旬から全学年で協力しながら少しづつ準備を行ってきました。そして患者さんことを思いながら、笹に飾り付けを行いました。

笹は病棟だけでなく、来院される方全員が楽しめるように外来にも設置させていただきました。さらに、患者さんや家族、面会の方にも願い事を書いていただけるようにと短冊とペンを置いた机も設置しました。患者さん、家族の方からも「早く良くなりますように」や「お父さんがお家に元気になって帰れますように」など1日も早い健康の回復を願う気持ちを綴った短冊がたくさん飾られていました。また、病棟では学生たちが作った飾りだけでなく、折り紙で折った鶴を飾り付けてくださいました。

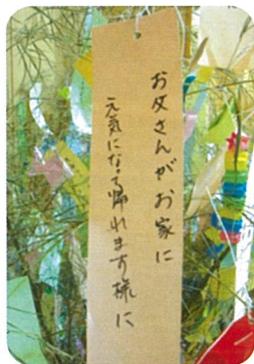
七夕が過ぎて、学生はそれぞれが持ち帰ってきた笹につるされている短冊を手に取り見入っていました。学生たちにとっては患者さんや家族の思いを知る機会になったと思います。様々な思いを持った方々に、看護を実践できるように学んでいこうと決意を新たにした学生もいたことでしょう。この短冊は皆様の願いが叶うことを祈り、回収後は朝倉神社に奉納しています。



体育館で飾り付け中



外来にも設置

病棟で飾り付けて  
くださった折り鶴

## 地域医療連携室だより

看護師長 西本 美香



家の下からは、鳴る子の音や掛け声が毎日聞こえ、よさこい祭りが近付いてきたなど日々感じています。地域連携室のスタッフの子供さんも踊るため、踊る方だけでなく親御さんたちも準備等忙しい毎日だと思います。県外にいる義姉も、よさこいが大好きで今年はよさこいソーランで2日間踊りました。全国各地に祭りが広がり、踊っている姿を見るのは本当にうれしく思います。

さて、地域医療連携室の夏の最大イベントは、国立病院機構高知病院医療連携連絡会です。日頃お世話になっている地域の医療機関との連携強化を図るために行っています。地域医療連携室では、前方支援・後方支援にあたっていると顔の見える連携の大切さを感じています。また今年は、開院15周年記念式典と合わせて行うため、大がかりなものとなります。各職員と協力して盛り上げていきたいと思います。

▼第7回国立病院機構高知病院医療連絡会(大串 文隆先生)

### 開院15周年記念式典・第8回国立病院機構高知病院医療連携連絡会

日 時：平成28年8月6日(土) 16:00～20:30

場 所：ザ クラウンパレス新阪急高知

＜開院15周年記念式典の部＞ 4階 フローラルの間 16:00～17:30

開院15周年記念特別講演 国立病院機構本部 副理事長 古都 賢一先生

「地域に生きる国立病院機構の明日」

＜地域医療連携連絡会の部＞ 4階 フローラルの間 17:30～18:55

地域医療連携連絡会特別講演 高知県健康政策部医療政策課長 川内 敦文先生

「地域医療構想から医療計画へ」

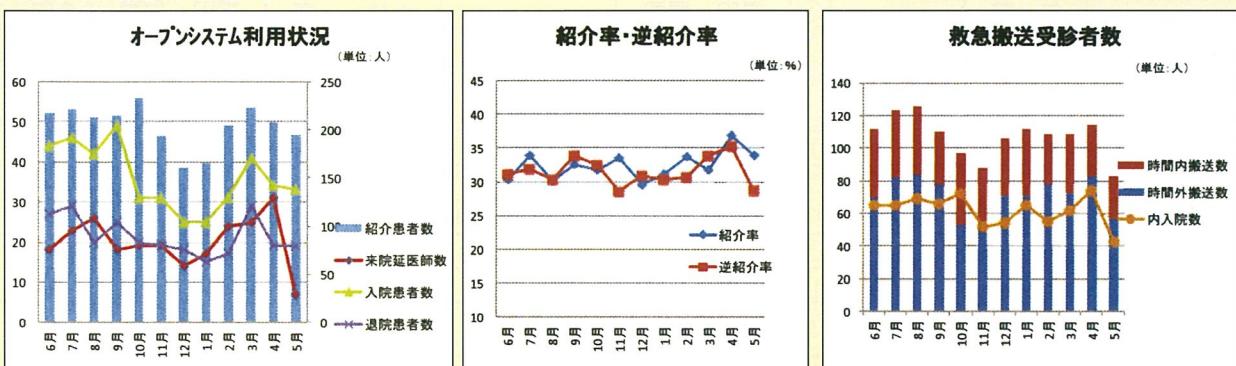
＜意見交換会の部＞ 3階 蘭の間 19:00～20:30

懇談



▲川内 敦文先生

### ○高知病院地域連携等概況



### 職員の異動

4月2日付～7月1日付の人事異動

#### 退 職

アレルギー疾患研究室長 小倉由紀子 2016年4月30日付  
消化器内科医師 三井 康裕 2016年4月30日付  
脳神経外科医長 中城 登仁 2016年5月31日付  
呼吸器内科医師 内藤 伸仁 2016年6月30日付  
副看護師長 秋森 容子 2016年6月30日付

#### 看護師

中山 香里 2016年6月30日付

#### 共済係

岡崎美智子 2016年6月30日付

#### 採 用

消化器内科医師 岡田 泰行 2016年5月1日付  
小児科医師(非常勤) 小倉由紀子 2016年5月1日付  
小児科医師 寺内 芳彦 2016年7月1日付

# 外来診療担当医表

(平成28年7月1日現在)

■受付時間 8:30~11:00

整形外科 火曜日は予約患者のみの診察になります。

(新患、予約のない方は原則診察できません)

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日~1月3日

独立行政法人  
国立病院機構

高知病院

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号  
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385  
<http://www.hosp.go.jp/~kochihp>

診療科	区分・診察室番号	月	火	水	木	金
内科	午前	1 診	(12) 門田・町田(隔週)	田岡・岡野(隔週)	井上・今西(隔週)	岡田・篠原(隔週)
		特別外来	(11) 松森(糖尿病)	岩原(血液)	松森(糖尿病)	岩原(内科)
	午後	専門外来			化学物質過敏症(予約制)	
神経内科		(17)	不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)			
呼吸器内科 アレルギー科	午前	1 診	(8) 篠原 勉	大串 文隆	畠山 暢生	大串 文隆 (紹介のみ)
		2 診	(6)		田岡 隆成	町田 久典
	午後	3 診	(12)			門田 直樹
消化器内科	午前	(9)	井上・山本	岡田 泰行	板垣 達三	井上 修志
循環器内科	午前	(7)	山崎 隆志	西村 直己		山崎 隆志
	午後	専門外来				ペースメーカー(第2木曜)
リウマチ科		(10)	松森 昭憲 (糖尿病も診察)		大串 文隆 (予約のみ)	松森 昭憲 (糖尿病も診察)
小児科	午前	1 診	(1) 武市 知己	大石 尚文	武市 知己	小倉 英郎
		2 診	(2) 大石 尚文		寺内 芳彦	武市 知己
	午後	3 診	(3) 寺内 芳彦	井上 和男	井上 和男	小倉由紀子
外科	午後	専門外来	神経・アレルギー (第2月曜医大循環器)	アレルギー 循環器	乳児健診	アレルギー NICUフォローアップ
		予防接種	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)	14:00~16:00 (予約制)
整形外科	午前	(5)	大塚 敏広	福山 充俊 (乳がん検診も実施)	山崎 誠司	福山 充俊 (乳がん検診も実施)
	午後	専門外来	大塚 敏広 (胃ろう・ヘルニア外来)	福山 充俊 (乳腺外来)		日野・福山 (乳腺外来)
脳神経外科	午前	(1)	福田 昇司		小林 亨	福田 昇司
	午後		骨粗鬆症(予約制) 13:00~15:00			田村 竜也
呼吸器外科	午前	1 診	(8) 非常勤 10:00~		非常勤 9:00~	
小児外科	午前	(7)		先山 正二	先山 正二	
皮膚科	午前	(5)		日野 弘之	日野 弘之	
泌尿器科	午前	(13)	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾	高橋 綾
産科	午前	(9)	渡邊 裕修	笠原高太郎	渡邊(奇数週) 大河内(偶数週)	笠原高太郎
	午後	(35)	滝川 稔也	福家 義雄	福家 義雄	小林 文子
婦人科	午前	(31)	木下 宏実	木下 宏実	滝川 稔也	木下 宏実
	午後		原田 裕子			
眼科	午前		福家(紹介患者・予約制)		小林 文子(完全予約制)	思春期外来
	午後		(23) 戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前	(16)	岩崎・中野	岩崎・中野	岩崎・中野	岩崎・中野
	午後					
リハビリテーション科						
放射線科			小松 幸久	塩田 博文	小松 幸久	塩田 博文
						小松 幸久

※内科の1診は、月曜日から金曜日まで全て、医師1名担当の交代制となっています。

※市町村発行のクーポン券を利用される乳がん検診は、平日の午前中外科外来にて行っています。